

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 3 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100116		
法人名	社会福祉法人 広島光明学園		
事業所名	グループホーム光明牛田新町		
所在地	広島市東区牛田新町3丁目20-15 (電話) 082-222-3223		
自己評価作成日	平成24年11月11日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年1月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>1、隣接するグループホームとの交流行事に力を入れている。 2、保育園が事業所と同じ敷地内にある為、入居者と園児の触れ合いの機会を設けている。 3、地域の行事に参加し、関わりを深めていくように努めている。 4、共用型のデイサービスを開設していることもあり、入居者様とデイサービス利用者様との交流によりメンタル的な刺激になるように努めている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム光明牛田新町（以下、ホーム）は、社会福祉法人広島光明学園が運営するホームです。法人では、介護保険事業の他に幼稚園や保育所を運営し、地域との関わりを大切にされています。ホームは、法人が運営する保育所やグループホームと同じ建物にあり、行事などを一緒に実施したり、子どもたちが作ったおやつのお返しがあるなど日常的に交流されています。子どもたちとの交流は、入居者の笑顔を引き出すことにも繋がっています。また、町内会の行事にも積極的に参加されています。法人主催の祭りには、地域住民の参加も多くあります。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（1ユニット）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念として三宝一如(3つの宝)そのものが地域密着をめざしており、行事等を通じて理念を共有し実践につなげている。	法人理念を基本に、ホーム独自の理念である「家庭的な雰囲気大切にします、地域との交流を心がけます、明るい笑顔をやささないよう心がけます」を掲げておられます。また、理念が実践に繋がっているかをミーティングなどで確認し合い、ケアに努められています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の行事に参加させていただいたり、回覧板等で地域との情報を共有している。法人全体で地域貢献に取り組んでいる。	町内会に加入し、町内行事に入居者と一緒に参加されています。町民運動会、盆踊りに参加し、地域住民との交流をされています。まちのみんなで絆をつくり、まちのみんなが協力することを目的とした「かうちゃんフォーラム」では地域交流を進めるサロンの担当を受け持っておられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事、法人行事に参加することで地域の人々との交流を通して取り組んでいる。また、事業所に所属している認知症アドバイザーが地域の認知症サポーター養成講座に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、ご家族、民生委員、地域包括の職員の意見、助言を取り入れサービスの向上に努めている。	2か月に1回、会議が開催されています。運営状況などを報告する他、地域に住む高齢者の安否確認、地域振興、地域交流に関する協議も行われています。また、区担当者に呼びかけ、次回の会議では、参加が得られる予定です。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	特に防災関係において避難訓練等で消防署との連携を図り必要に応じて指導していただき、利用者様の安全確保に努めている。また、地域包括支援センターとの連携が取れる体制を作っている。	区担当とは、綿密に連携を取り、電話や直接出向いて助言を受ける関係を築かれています。また、認知症アドバイザーの資格を持つ職員が、地域の認知症講座の講師として協力されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関には施錠はしていないが自動ドアに工夫を施し、モニターによる見守りができるよう、工夫をしている。各階のベランダによる扉は施錠はあるが、鍵を掛けることなく利用者が自由に出入りできるようにしている。職員は研修に参加し、理解を深め、実践するように努めている。</p>	<p>年1回、身体拘束に関する研修を実施し、身体拘束をしないケアに取り組まれています。歩行やトイレでの声かけなどで、言葉による拘束をしないことに努めておられます。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内研修や担当者会議、マニュアルを整備し職員が学び、利用者様の人生、人生観を尊重するように、虐待防止にも努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修等で学び、実際にご家族の方が成年後見制度の手続きをされた時に協力させていただいた経験があり、役立っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項の説明をさせていただき、理解と納得に努めている。また、その後においてもご家族様の話し合いに努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族が来園された際は声がけをさせていただき利用者様に対しての気づきや要望などをお聞きしてプラン等に反映させている。また運営推進会議等で外部者に表せる機会を設けている。</p>	<p>面会時に家族から話を聞いておられます。検討が必要な内容は、すぐに対応するよう努められています。忘年会の時に家族との意見交換の場を設け、意見や提案を聞く機会をつくられています。終末期におけるホームの方針について知りたいとの意見が家族から出され、説明会が行われたことがあります。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議、アンケート、ケアプラン、個人面接、利用者様の状況表等を作成し反映させている	職員会議を月1回開催し、意見交換をされています。行事や業務改善、環境などの各種委員会を設置し、ほとんどの職員が委員会に属し、意見や提案を出されています。また、職員を対象としたアンケートを実施し、口頭では言いにくいことや、今さら聞けない疑問点などを聞かれています。さらに、管理者は職員と個人面接も実施されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休をシフトに反映させ、業務に対してストレスを溜めないよう、各自が向上心を持って働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個別面接を実施し職員個々の得手不得手を把握し、指導、アドバイスを実施するよう努めている。また、法人内外の研修にも参加できるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設外研修に参加させていただき、他事業所の生の意見交換を参考にしサービス向上の取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	基本情報を理解し、アセスメント、施設内においての会議を通して少しずつ距離感を縮めていき安心感のある居場所であるように働きかけている。入所前に面接を行い、要望等を受け止め、関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族の立場を理解し、悲しみ、苦しみ、悩みを共有するように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者様にもし何かあった場合を想定して医療機関や当法人の他事業所との連携を密にするよう努めている。ケアプランを作成するために情報・意見交換にも努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様のADLが厳しくなっている状況の中、介助を通じて、暮らしを共有し楽しく過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所を自宅としてとらえ、ご家族の出入りを遠慮されないよう努めている。また、ご家族にも行事参加を促している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>法人行事、施設行事を通じて利用者様のご家族、友人知人、地域の方々にも来園していただけるように努めている。また、ご家族の了承のもと知人との面会の機会も設けている。</p>	<p>家族の協力を得て、墓参りに出かけたり、初詣に出かけたりする入居者もおられます。入居者の親戚や知人の訪問もあり、これまでの繋がりが途切れないよう支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ホールのテーブルで少数で関わっていただき、隣近所のような関係を大切にしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、民生委員との連携を取りながら関係が持続できるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者会議、施設内会議を実施しケアプランの変更・追加を検討している。	入居時には、本人や家族からこれまでの生活状況聞き、職員全体で共有されています。また、入居者とは日常会話などで、思いの把握に努めておられます。社交ダンスが趣味だった入居者が職員と一緒に踊ったり、習字や工作が得意な人も本人の無理がない程度でしてみたり、できる限りの支援をされています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様との会話やご家族からの情報を職員で共有するとともに、生活環境、生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎月の現状報告書を作成をすることによって利用者様の抱える問題などを分析し現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者と家族様の情報交換をするとともに、困難な場合においてもサービスを実施することからはじめていき、利用者様に応じた対応をつくりだしていき、プランに反映させている。意見交換も連絡ノート等を使用し柔軟な対応ができるように努めている。</p>	<p>日々の生活状況に併せて、ケアプランの実施状況を細かく記録されています。ケアマネジャーを中心に、モニタリングから把握できる入居の状況を、担当職員、看護師など関係者の意見を聞かれています。介護計画の見直しは6か月に1回実施されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録の他、担当者会議、施設内会議、ヒヤリ・ハットでの情報を共有し、現状のサービス内容の見直しを実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族との連携や会話を大切にし、一緒に支えあっていけるように取り組んでいる。また、ご家族との外食などにも取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>隣接する保育園園児さんとの触れ合いや行事に参加することにより、生活のメリハリを持っていただきマンネリな生活にならないように支援している。町内会・民生委員との連携をとり暮らしが豊かになるよう支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様が入居されるまで行かれていた病院との連携、地域の主治医の週1回の往診、電話連絡等により、充実した医療の支援に努めている。</p>	<p>入居者、家族が希望するかかりつけ医への受診ができます。受診は、家族の付き添いを基本に行われています。緊急時など必要に応じて看護師や職員が同行する場合があります。毎日、看護師が健康チェックを行い、協力医療機関の医師に情報提供し、連携を図っておられます。週1回、訪問歯科の受診もあります。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	健康チェックの他、身体状況について把握して、対応については看護師の指示のもと対応している。服薬管理・受診も看護師の指示により実施している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先の主治医と病院との連携を図り、ご家族にも共有していただくことで関係を密にしている。また、病院内にある地域医療連携室と情報交換を行うことで連携を図り、信頼関係を深めるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	当事業所において出来る限りの支援を検討し、医療行為が必要になった場合には病院または、ご家族、地域関係者とともに取り組んでいる。入所前からグループホームでの生活における限界についても話し合いを行っている。	重度化や終末期の対応については、入居時にホームでできることを説明されています。協力医療機関と連携を図り、入院治療が必要と判断される時期までは、ホームで生活できるよう体制を整えておられます。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	夜間帯の急変を想定し、当事業所だけでなく隣接する施設職員との連携を取れるよう訓練している。緊急時のマニュアルの把握にも努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	毎月1回避難訓練を実施し常日頃から危機管理を心かけている。様々な災害を想定しながら訓練を施行している。	併設するグループホームや保育園と合同で、毎月、防災訓練を実施されています。火災、洪水、山崩れ、夜間を想定した訓練を実施し、あらゆる災害に備えておられます。	災害時に備えて、地域との協力体制が必要です。今後は、呼びかけにとどまらず、地域と一緒に避難方法・対策について検討されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉遣い、声掛けのしかたはもとより、その際の表情も大切にしている。声掛けのタイミングや、利用者に対する気配りなど常日頃から利用者様の人格を尊重した対応を行っている。	その日その時の状況に合わせて、入居者の心を開くような言葉かけに配慮されています。「自分がこのホームで暮らしても良いと思えるサービスを提供できているか」をホーム長は常に職員に問いかけ、日々のケアの見直しも徹底されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本にからのご希望があれば自己決定できるように対応している。また、ご家族からの間接的要望にも受け入れ柔軟な対応をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースを大切に、職員において情報を共有することにより、職員側の都合を優先しないように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様に合わせるようにしている。行事で外出する場合など身だしなみ、整容に気を配り、散髪ボランティアを事業所に招いたりしている。。ご家族との外出においてはご家族様に対応をお願いしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様の好みや能力に応じて、食事の準備や片付けなど、出来る範囲で手伝いをして頂いている。時には、弁当を作って外出行事に参加したりしている。	食事は、保育所の給食室で調理された物をホームで盛り付けられています。盛り付けや配膳などを手伝う入居者もおられます。また、日曜日は、ホームで手作りされています。食材は、入居者の状態に合わせて、柔らかさや食べやすさに配慮されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>給食室から提供されることによりカロリー、バランスについては管理されている。水分量についてはひとりひとり、職員が把握し少ない方には摂取して頂くように支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科、看護師と連携し口腔ケアを実施している。訪問歯科の口腔ケアの研修にも利用者様・職員とも参加している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者様の排泄時間を記録することで利用者個々の排泄パターンを把握し、その習慣に応じたトイレ誘導を行なうことで自立に向けた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの排泄の間隔を把握し、声かけによるトイレ誘導が行われています。おむつやリハビリパンツに頼らず、自立に向けた支援に取り組まれています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>自然なお通じができるよう、毎日乳製品の摂取や、運動をして頂くよう取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間的な希望等を考慮し、利用者様のペースに合わせて週2～3回の入浴を実施している。入浴されない(出来ない)場合は、清拭等で、清潔保持に努めている。</p>	<p>風呂は個浴で、週2～3回を基本に支援されています。脱衣所と浴室にエアコンを完備し、温度差に配慮されています。入浴を好まない入居者には、声かけのタイミングを工夫されています。また、時には浴槽にゆずや入浴剤を入れるなど、楽しく入れる工夫もされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様のペースで就寝していただいている。昼夜逆転にならないよう、日中は無理の無いよう運動やレクリエーションを実施し、夜間安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬マニュアルに従い確認を徹底し、看護師と連携をとりつつ服薬事故の無いよう努め、利用者様の変化にも注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	レクリエーションを実施することで集団での楽しみが個人の楽しみにつながっている。利用者様個人の支援には、食事の準備、洗濯物をたたんで頂く、掃除など日常の役割をお願いしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	事業所でイベント企画を立て外出できるように努めている。また隣接する保育園の園児さんとの交流も増え外出する機会が増えている。外出の際にはご家族様の協力も得ている。	天気の良い日は、保育園児と一緒に近くの寺へ散歩に出かけることもあります。普段は、併設する保育園やグループホーム、屋上での日光浴などで気分転換を図ることができます。また、外食や買い物への外出は、家族の協力を得て行われています。	重度化が進み、入居者の行動範囲も限られてきていますが、毎日、同じ場所で過ごすだけでなく、季節の移ろいを感じられるよう、一人ひとりに合った手段や方法を検討されることを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭に関してはご家族が管理されている。金銭管理されておられる利用者様においては、ご家族の了承のもとに所持していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族に連絡などがある場合は事業所の電話を利用いただいている。また、利用者様ご本人が携帯電話をお持ちの方はご本人の携帯電話でもご家族と連絡が取れるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者様が作成された物を展示している。また、季節を感じていただけるように、その季節に合った物の展示を実施している。また、ベランダには、季節の花・野菜を栽培している。	居間は広くゆったりとしています。窓が大きいため明るい空間となっています。入居者は、椅子やソファに座り、思い思いに寛いでおられました。保育園と併設のグループホームへの連絡通路でもあるベランダは広く、洗濯物や布団を干されています。屋上は、行事や日光浴をする場になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファ、テーブルの配置を考慮しながらつるげる空間作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様の協力を得て、使い慣れたものや、プレゼント、花などを置き安全に考慮しながら居心地の良い居室作りをしている。	家族の写真やプレゼントを飾ったり、テレビ、椅子、整理タンスを持ち込んだりして、一人ひとり個性のある居室となっています。居室入口には、大きな表札を掛け、自分の部屋が一目で分かるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全確保に努め、行動の制限をしないよう努めている。		

V アウトカム項目 (1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（2ユニット）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念として三宝一如(3つの宝)そのものが地域密着をめざしており、行事等を通じて理念を共有し実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会の行事に参加させていただいたり、回覧板等で地域との情報を共有している。法人全体で地域貢献に取り組んでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事、法人行事に参加することで地域の人々との交流を通して取り組んでいる。また、事業所に所属している認知症アドバイザーが地域の認知症サポーター養成講座に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、ご家族、民生委員、地域包括の職員の意見、助言を取り入れサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	特に防災関係において避難訓練等で消防署との連携を図り必要に応じて指導していただき、利用者様の安全確保に努めている。また、地域包括支援センターとの連携が取れる体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関には施錠はしているが自動ドアに工夫を施し、モニターによる見守りができるよう、工夫をしている。各階のベランダに出る扉は施錠はあるが、鍵を掛けることなく利用者が自由に入出りできるようにしている。職員は研修に参加し、理解を深め、実践するように努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設内研修や担当者会議、マニュアルを整備し職員が学び、利用者様の人生、人生観を尊重するように、虐待防止にも努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修等で学び、実際にご家族の方が成年後見制度の手続きをされた時に協力させていただいた経験があり、役立っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項の説明をさせていただき、理解と納得に努めている。また、その後においてもご家族様の話し合いに努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族が来園された際は声がけをさせていただき利用者様に対しての気づきや要望などをお聞きしてプラン等に反映させている。また運営推進会議等で外部者に表せる機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議、アンケート、ケアプラン、個人面接、利用者様の状況表等を作成し反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望休をシフトに反映させ、業務に対してストレスを溜めないよう、各自が向上心を持って働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個別面接を実施し職員個々の得て不得手を把握し、指導、アドバイスを実施するよう努めている。また、法人内外の研修にも参加できるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設外研修に参加させていただき、他事業所の生の意見交換を参考にしサービス向上の取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	基本情報を理解し、アセスメント、施設内においての会議を通して少しずつ距離感を縮めていき安心感のある居場所であるように働きかけている。入所前に面接を行い、要望等を受け止め、関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族の立場を理解し、悲しみ、苦しみ、悩みを共有するように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者様にもし何かあった場合を想定して医療機関や当法人の他事業所との連携を密にするよう努めている。ケアプランを作成するために情報・意見交換にも努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様のADLが厳しくなっている状況の中、介助を通じて、暮らしを共有し楽しく過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所を自宅としてとらえ、ご家族の出入りを遠慮されないよう努めている。また、ご家族にも行事参加を促している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>法人行事、施設行事を通じて利用者様のご家族、友人知人、地域の方々にも来園していただけるように努めている。また、ご家族の了承のもと知人との面会の機会も設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ホールのテーブルで少数で関わっていただき、隣近所のような関係を大切にしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、民生委員との連携を取りながら関係が持続できるように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	担当者会議、施設内会議を実施しケアプランの変更・追加を検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様との会話やご家族からの情報を職員で共有するとともに、生活環境、生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎月の現状報告書を作成をすることによって利用者様の抱える問題などを分析し現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者と家族様の情報交換をするとともに困難な場合においてもサービスを実施することからはじめていき、利用者様に応じた対応をつくりだしていき、プランに反映させている。意見交換も連絡ノート等を使用し柔軟な対応ができるように努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録の他、担当者会議、施設内会議、ヒヤリ・ハットでの情報を共有し、現状のサービス内容の見直しを実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族との連携や会話を大切にし、一緒に支えあっていけるように取り組んでいる。また、ご家族との外食などにも取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>隣接する保育園園児さんとの触れ合いや行事に参加することにより、生活のメリハリを持っていただきマンネリな生活にならないように支援している。町内会・民生委員との連携をとり暮らしが豊かになるよう支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様が入居されるまで行かれていた病院との連携、地域の主治医の週1回の往診、電話連絡等により、充実した医療の支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	健康チェックの他、身体状況について把握して、対応については看護師の指示のもと対応している。服薬管理・受診も看護師の指示により実施している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先の主治医と病院との連携を図り、ご家族にも共有していただくことで関係を密にしている。また、病院内にある地域医療連携室と情報交換を行うことで連携を図り、信頼関係を深めるようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	当事業所において出来る限りの支援を検討し、医療行為が必要になった場合には病院または、ご家族、地域関係者とともに取り組んでいる。入所前からグループホームでの生活における限界についても話し合いを行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	夜間帯の急変を想定し、当事業所だけでなく隣接する施設職員との連携を取れるよう訓練している。緊急時のマニュアルの把握にも努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	毎月1回避難訓練を実施し常日頃から危機管理を心かけている。様々な災害を想定しながら訓練を施行している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉遣い、声掛けのしかたはもとより、その際の表情も大切にしている。声掛けのタイミングや、利用者に対する気配りなど常日頃から利用者様の人格を尊重した対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本にからのご希望があれば自己決定できるように対応している。また、ご家族からの間接的要望にも受け入れ柔軟な対応をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペースを大切に、職員において情報を共有することにより、職員側の都合を優先しないように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様に合わせるようにしている。行事で外出する場合など身だしなみ、整容に気を配り、散髪ボランティアを事業所に招いたりしている。。ご家族との外出においてはご家族様に対応をお願いしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様の好みや能力に応じて、食事の準備や片付けなど、出来る範囲で手伝いをして頂いている。時には、弁当を作って外出行事に参加したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	給食室から提供されることによりカロリー、バランスについては管理されている。水分量についてはひとりひとり、職員が把握し少ない方には摂取して頂くように支援している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	訪問歯科、看護師と連携し口腔ケアを実施している。訪問歯科の口腔ケアの研修にも利用者様・職員とも参加している。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	利用者様の排泄時間を記録することで利用者個々の排泄パターンを把握し、その習慣に応じたトイレ誘導を行なうことで自立に向けた支援をしている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	自然なお通じができるよう、毎日乳製品の摂取や、運動をして頂くよう取り組んでいる。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	時間的な希望等を考慮し、利用者様のペースに合わせて週2～3回の入浴を実施している。入浴されない(出来ない)場合は、清拭等で、清潔保持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様のペースで就寝していただいている。昼夜逆転にならないよう、日中は無理の無いよう運動やレクリエーションを実施し、夜間安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬マニュアルに従い確認を徹底し、看護師と連携をとりつつ服薬事故の無いよう努め、利用者様の変化にも注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	レクリエーションを実施することで集団での楽しみが個人の楽しみにつながっている。利用者様個人の支援には、食事の準備、洗濯物をたたんで頂く、掃除など日常の役割をお願いしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	事業所でイベント企画を立て外出できるように努めている。また隣接する保育園の園児さんとの交流も増え外出する機会が増えている。外出の際にはご家族様の協力も得ている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭に関してはご家族が管理されている。金銭管理されておられる利用者様においては、ご家族の了承のもとに所持していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族に連絡などがある場合は事業所の電話を利用いただいている。また、利用者様ご本人が携帯電話をお持ちの方はご本人の携帯電話でもご家族と連絡が取れるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者様が作成された物を展示している。また、季節を感じていただけるように、その季節に合った物の展示を実施している。また、ベランダには、季節の花・野菜を栽培している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファ、テーブルの配置を考慮しながらくつろげる空間作りをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族様の協力を得て、使い慣れたものや、プレゼント、花などを置き安全に考慮しながら居心地の良い居室作りをしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>安全確保に努め、行動の制限をしないよう努めている。</p>		

V アウトカム項目 (2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム光明牛田新町

作成日 平成 25 年 3 月 19 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35・13	災害対策について, 地域との協力体制が整っていない。	避難訓練等に地域の人に参加していただく。	地域の消防団に避難訓練等に参加していただき助言を受ける。	年内
2	49・18	日常的な外出支援について, 行事などの外出機会はあるが, 日常的な外出が少ない。	施設の敷地外での散歩など, 行動範囲を広げる。	家族を含め, 敷地外への散歩などを促していく。	平成25年10月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。